石神台 防災かわら版

石神台自治会防災部
自主防災委員会
広報班
７１号
令 和３年９月

大磯町消防団第12分団（月京・石神台）定例訓練を取材

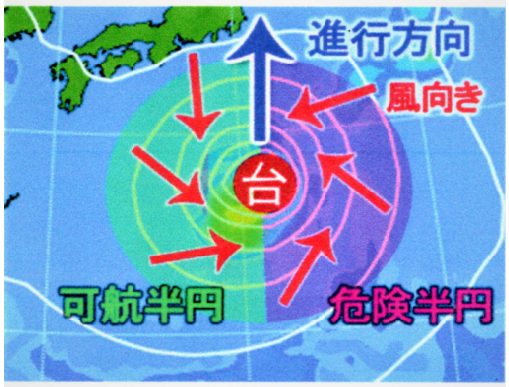
左から、二宮・簑島・野村さん

先日、回覧板で消防団第12分団（月京・石神台）の紹介がありました。第12分団には石神台から簑島由征さん、野村英彦さん、二宮陽児さんの３名が参加しています。普段は自分の職業に従事しながら、災害発生時には現場に急行し、消防・防災・救出活動を行うなど地域の安全・安心に大きく貢献しています。

消防団は休日を使って訓練をし、チームワークを高めています。８月22日（日）、定例訓練があると云うので見学を申し込ました。

指定された９時に国府支所・消防署国府分署の脇にある第12分団詰所に行ってみると、すでに早朝８時から訓練を初め、学校防火貯水槽の点検作業を済ませて来たところでした。

９時からはホースの延長・脱着等の訓練で、その基本動作が繰り返し行われました。隊員のＭさんに「やりがいってどんなことですか？」と聞いたら、「火災の現場に駆け付けた時のあの気持ちかなぁー」と心地よい返事が返ってきました。大雨の時など『消防指令センター』からの情報をもとに土砂災害などの危険箇所の見回りも仕事です。改めて日頃のご苦労に感謝でした。



台風の豆知識

― 台風は反時計回り、進行方向右側を『危険半円！』と ―

台風の多い８月、９月。チョットした知識が防災に役立つことがあります。**台風とは、**西太平洋の北側と南シナ海で発生する「熱帯低気圧」のうち、**最大風速が 17m／秒 以上**となったものを言います。

分類は「強さ（強い・非常に強い・猛烈…など最大風速で区分）」と「大きさ（大型・超大型など強風域の大きさで区分）」で分類します。

台風の進路は地球の自転の影響で北上します。一般的に日本付近に到達すると偏西風が吹いているため進路が東に流されて日本上空から東北に抜けて行きます。

台風は「反時計まわりの巨大な空気の渦巻き」で、上図のように進行方向の右側を**『危険半円』**、左側を**『可航半円』**と呼びます。危険半円は台風自身の風と台風を移動させる流れの方向が一致するため強い風が吹き、逆に左側は右側に比べて弱いので可航半円と呼んで区別しています。これは防災の上でも大事なところです。

例えば、図のような台風が大磯より西側に上陸すると石神台は危険半円に入りより強い風が吹き、東を通ると可航半円に入り風が多少弱くなるなど被害に差が出ることになります。

にこにこマークは無事の印

訓練日みんなで出そう黄色旗

毎月の第１土曜日 午前中

10月は２日
11月は６日
です。
「いざ」という時にあわてない訓練をしよう！